

第626回 放送番組審議会

議事録

2026年2月17日（火）



第 6 2 6 回 放送番組審議会

1. 日 時 2026年2月17日(火) 午後1時00分

2. 開催場所 テレビ岩手6階 大会議室

3. 委員総数 9名

出席委員 7名

委員 長 岩館 めぐみ

委員 中野 美知子

委員 岡安 大地

委員 畠山 正

委員 保 和衛

委員 千葉 幸子

委員 渡邊 里沙

欠席委員 2名

副委員長 菅原 和宏

委員 大森 健史

社側出席者

福士 千恵子 代表取締役社長

池田 学 専務取締役経営企画局長

小形 恵一 取締役報道制作局長

菊池 健 報道制作局報道部長

事務局

桑島 広実 (執行役員編成局長)

4. 議 題

1. 1/5 (月) 18:15～18:54

「ニュースプラス1いわて」

2. その他

5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

・視聴者からのご意見

6. 意見

【委員側意見】

○オープニングの曲について、聞き心地が良いと改めて感じた。大船渡の悪魔祓いという行事は初めて知ったが、県内には地域によって様々な行事があることを感じさせられたし、インタビューを受けた女性の言葉にぐっときた。

○大船渡の行事の紹介で、「変わってしまった風景の中に変わらない地域の温かさが残っていました」というナレーションが、町の小さな行事の大切さを伝えていた。女性アナウンサーは、清潔感と落ち着いた雰囲気がとても良い印象だった。

○「今年にかける」というシリーズがあったが、このコーナーの中で次回以降のラインナップを紹介してもよかったのではないかと感じた。正月の県内各地の話題を取り上げていたが、盛岡以北の内陸部の紹介がなかった事が気になった。

○正月の表情として宮古の初日の出の美しい映像と内陸の雪の映像があり、そのコントラストで岩手の広さを感じられた。東日本大震災や林野火災の被害から生業の再生は途上にあることを伝えながら、今年から始まった林野火災の警報・注意報にも触れる構成が、よく考えられていると感心した。

○箱根駅伝に出場した岩手ゆかりの選手をしっかりと紹介してくれていたのは、テレビ岩手だからこそ感じた。スピードスケートの吉田選手の特集では、高校時代の映像があったことで選手の成長が良く分かった。

○この番組はいつもはニュースがポンポン流れてくる印象だが、この日はニュースを見たというよりは岩手の正月を様々な角度からとらえた新年の特番を見たような感じだった。取材のインタビューに答えていた方々の謙虚で誠実なコメントが印象的だった。

○保育園の書初めのニュースがとても微笑ましく、園児のコメントが丸文字で表示されていたところに工夫があり可愛らしさがより伝わった。天気コーナーの路面凍結情報は、雪国ならではの、詳しくてありがたいと感じた。

【局側意見】

○新年最初のニュースは県民の暮らしの視点で構成しようと考え、他局とは違った内容で放送できたと思う。

○取材でインタビューをした方々のコメントから「今年こそ平穩に」という思いがにじみ出ているように感じられたので、それを視聴者にしっかりと伝えたかった。

○盛岡以北の内陸の話題についての取り上げは、今後改善していきたい。

○「今年にかける」のシリーズの1回目は、次回以降のラインナップも紹介したほうが、企画の意図や内容について視聴者の理解がより深まったかもしれない。

7. 審議機関の答申または意見の概要公表の方法及び年月日

①自社放送 2月26日(木) 11:25~11:30 「あなたと歩むテレビ岩手」

②テレビ岩手本社での据え置き